



長府地区まちづくり協議会



ニュースレター 臨時号

12月3日（日）、小春日和のお天気の中、17年ぶりに『城下町長府時代祭り』が開催されました。城下町長府は、西暦193年に第14代仲哀天皇が仮の皇居「豊浦の宮」を築かれてから実に1800年という古京都以上の長い歴史を誇ります。その歴史絵巻が、昔ながらの古い町並みを背景に繰り広げられました。

ご挨拶

この度は「城下町長府時代祭り」が無事に開催されましたこと、偏に地域の皆様、地域関係諸団体の皆様のおかげと心よりお礼を申し上げます。1800年に及ぶ長府の歴史を市内外に知っていただき、子ども達に「誇れる長府」を感じてもらえたと自負しております。これからも「長府地区まちづくり協議会」は恵まれた環境を活かし、魅力ある個性豊かな地域づくりを目指して活動を展開していきますので何卒よろしくお願いいたします。

長府地区まちづくり協議会会長 緒方 聖雄

この度17年ぶりに「城下町長府時代祭り」が盛大に開催されました。天候に恵まれ、大勢の方が訪れたことはこの「城下町長府時代祭り」に期待されたからだと思います。また、来られた方々から「良かった、是非今後も続けて欲しい」と、お言葉をいただきました。祭りのメインとなりました「時代大行列」には地元小・中・高校生、さらに県内外の方々に参加していただきました。また、運営につきましては、長府警察署、萱島きもの研究会、地元小・中・高校他、県内外の多くのご協力をいただきました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。小学生から大人までが行列に参加し、長府の人々が心一つにして運営していく、まさに長府を挙げての開催となり、理想的な祭りだと思っています。次回も、長府の子供から大人まで心一つにして開催したいと思います。

城下町長府時代祭り実行委員長 細田 利正

ご協賛のお礼

株式会社 エーチーム 長府警察署 株式会社 森 芳楽園 (50音順 敬称略)

ご報告が遅くなりました。前回ご報告分と合わせましてお礼申し上げます。ありがとうございました。

参加者着付け（長府公民館）及び 会場設営（忌宮神社）



まだ手元も見えない薄暗い冬の朝、衣装の着付け会場となった長府公民館には行列参加者の方が続々と集まって来ました。小物も多く、手間のかかる甲冑の着付けですが、「海峡祭り」や「源平ナイト」などでも活躍されている「萱島きもの研究会」の皆様の手で、手際よく着付けが進み、次々に勇ましい鎧武者が誕生しました。初めて甲冑を身に着けた方も多く、総重量20kgという重さと動きにくさに、改めて昔の人の生活に思いを馳せていました。そしてその頃、行列の出発場所の忌宮神社では、テントを張ったり、椅子を並べたり着々と会場作りが行われていました。



行列第1陣



第14代仲哀天皇



武将



従者



官女



武将



楽市楽座（長府商店街）



フリーマーケットや屋台が軒を並べる楽市楽座。ボルダリングの壁は大人気でした。

本陣（忌宮神社）



平家太鼓、太極拳演武、プラスバンド、歴史劇等がステージで行われました。

行列第2陣



人力車



子供武将



奇兵隊



奇兵隊

高杉晋作

(前田晋太郎下関市長)



朝鮮通信使



奇兵隊



幕末志士